

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 縦隔鏡検査の有用性に関する後ろ向き調査の検討 』
研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院
研究責任者 外科 職位・氏名 院内講師 ・ 桐林 孝治

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院外科では、縦隔鏡検査施行される患者さんを対象として、検査結果がのちの治療に役に立っているかを後ろ向きに検討することにより、肺癌患者に対する個別化した治療（オーダーメイド治療）の方針決定へとつなげることを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果により、縦隔鏡検査の結果が患者さんの今後の治療戦略につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、（東邦大学医療センター大橋病院）倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者：2007年11月～2019年12月までに東邦大学医療センター大橋病院

外科において、縦隔鏡検査施行された患者さん（44例）の方

方法：診療録（カルテ）から抽出した臨床データを使用します。

【研究に用いられる試料・情報】

病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、胸部CT検査、手術記録、入院記録等

【研究組織】

代表施設名：東邦大学医療センター大橋病院

研究代表医師：桐林 孝治 役職：院内講師

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 外科

職位・氏名 院内講師 ・ 桐林 孝治

電話 03-3468-1251 内線 7936